



主要事業マネジメントシート

部局名 都市整備部

事業名	阪神高速道路 大和川線整備事業				／ 担当室課 交通道路室 道路整備課	
予算額	H24 14,107,500 千円(470,500 千円)	H26 3,261,203 千円(109,068 千円)	H27要求 7,489,998 千円(250,666 千円)	実績	H24 7,394,405 千円(246,802 千円)	H25 1,024,580 千円(34,527 千円)
事業の優先性	<input type="checkbox"/> 重点課題【知事重点分野】(項目名:) <input type="checkbox"/> 成長戦略(項目名:) <input checked="" type="checkbox"/> その他(項目名: 都市再生プロジェクト・中期財政展望事業)		<input type="checkbox"/> 人口減少関係(項目名:) <input type="checkbox"/> 新・地震防災アクションプラン(項目名:)			
事業選択	役割分担	民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 民間では実施不可(行政がすべき役割) <input type="checkbox"/> 民間で実施するためのインセンティブとして実施 <input type="checkbox"/> その他 (理由)政府における道路関係4公団民営化の基本方針により、その一部区間を府が事業主体となり施行を行う。	行政としての役割	<input checked="" type="checkbox"/> 府の役割 <input type="checkbox"/> 国の役割 <input type="checkbox"/> 市町村の役割 (理由)本来道路管理者としての府の役割	
	事業手法	手法の妥当性	大阪都市再生環状道路の一部を構成する阪神高速道路大和川線の整備することにより、大阪都心部においては、既存の幹線道路等に集中する交通を分散させ、多数の慢性的な渋滞や沿道環境の大幅な改善が見込まれ、また、大阪府南部地域においては、東西方向の交通渋滞の緩和及び既存の高速道路の利便性の向上が見込まれる。			
		受益と負担	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり(内容・水準:) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない(理由:) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担になじまない			
		将来のリスク管理	-			
	事業間調整	庁内での連携	-			
	他事業との整合性等	-				
事業効果	目標・指標	(事業目標)	大阪都心部の既存幹線道路等に集中する交通を分散させ、多数の慢性的な渋滞や沿道環境を改善する			-目標に達しなかった場合の見直し・改善方策
		(指標)	大阪都市再生環状道路の一部である阪神高速道路大和川線の整備			
	(実績)	 -				
コスト分析	(事業期間)	H 16 ~ H 28				
	(指標)	H24(フルコスト) 千円 / (指標数値) = 千円  (コスト分析結果) H25(フルコスト) 千円 / (指標数値) = 千円				
特記事項	<事業優先性や事業選択の判断に影響を与えるような事情が新たに発生した場合等に記入> -					